

4号機 使用済燃料プール内の ガレキ撤去のための調査について

2012年2月27日

東京電力株式会社



東京電力

1. 使用済燃料プール内ガレキ撤去のための調査について

目的

- ・ 4号機使用済燃料プールからの燃料取出しを実現させるためには、燃料取出し前に使用済燃料プール内に堆積しているガレキの撤去が必要。
- ・ そこで、ガレキ撤去計画の立案に資することを目的とし、使用済燃料プール内のガレキ分布状況調査を実施する。

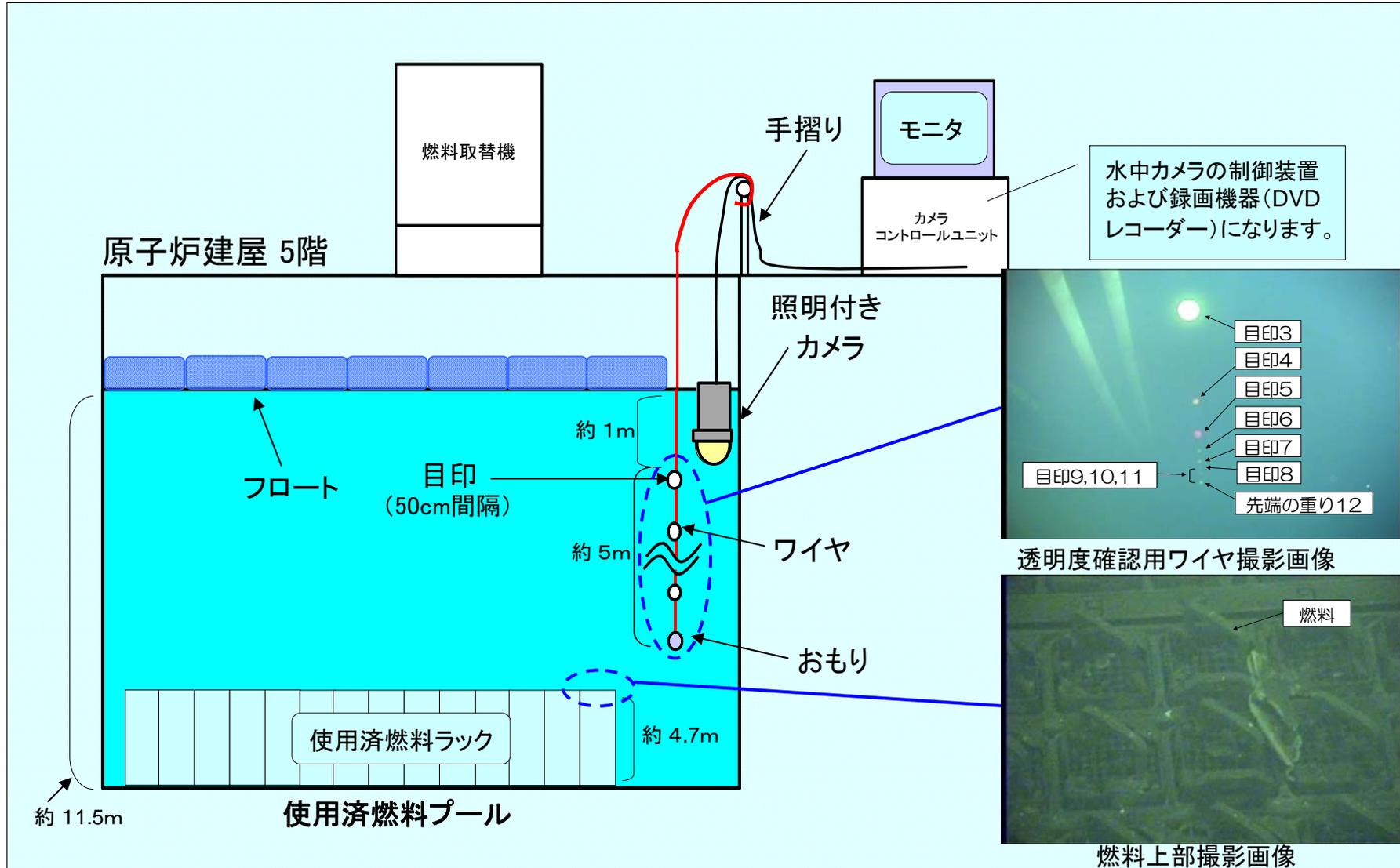
ガレキ撤去計画について

- ・ 2/9に使用済燃料プール内透明度確認実施済。3月中～下旬よりガレキ分布状況調査を実施。
- ・ ガレキ分布状況調査に基づき撤去計画の立案，撤去装置準備，作業トレーニングを実施し，平成25年度半ばよりガレキ撤去作業を開始予定。

	平成23年度			平成24年度	平成25年度
	1月	2月	3月		
4号機ガレキ撤去計画	2/9 透明度確認実施 	3月中～下旬 ガレキ分布状況調査 		ガレキ撤去計画立案・撤去装置準備・作業トレーニング 	ガレキ撤去作業  燃料取出し開始目標 

2. 使用済燃料プールにおける透明度の確認作業について（2月9日実施）

- 等間隔に目印が取り付けられたワイヤを手摺りに固定し水中に降ろす。
- 照明付きカメラを上部から水中に投入し、当該目印の映像を撮影。
- 5m程度の視認距離があることを確認。



3. 使用済燃料プール内ガレキ分布状況調査の概要（3月中旬～下旬開始予定）

ガレキ分布状況調査作業概要

- ・ 使用済燃料プール内のガレキ分布状況調査にあたっては、遠隔操作が可能であり、かつ水中カメラ自身が駆動力を持つ自走可能なROV（Remotely Operated Vehicle：遠隔水中探査機）を用いる。
- ・ 使用済燃料プール上を覆っているフロート養生の開口部からROVを使用済燃料プール内に投入し、オペレーティングフロア上で操作を行う。

実施時期・期間

- ・ 3月中～下旬より9日間の作業（準備片付け6日・本作業3日）を予定。

